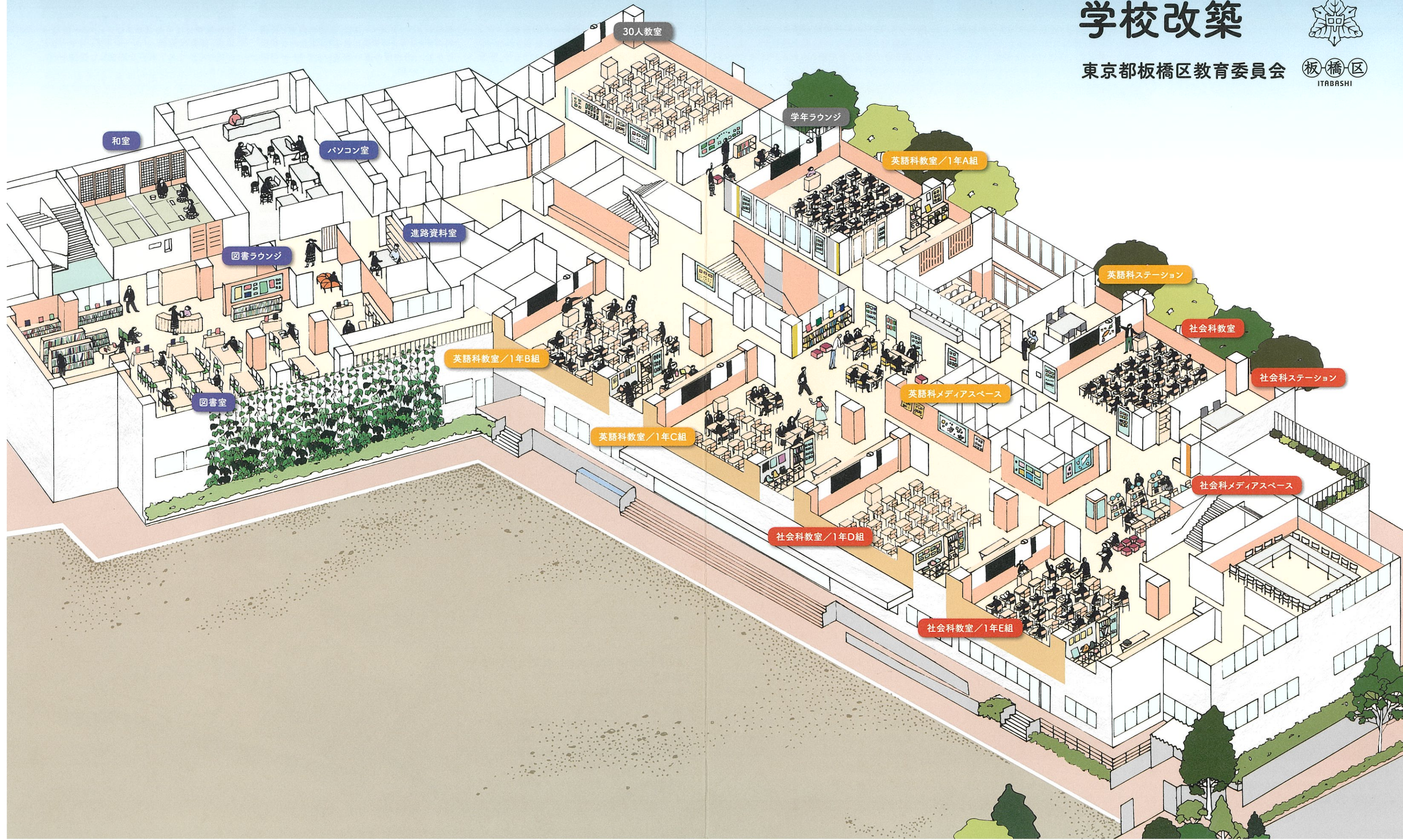


東京都板橋区立 中台中学校 学校改築



東京都板橋区教育委員会 板橋区
ITABASHI



区長あいさつ

中台中学校は平成21年度から取り組んできた板橋第一小学校、赤塚第二中学校を含む「三校同時改築プロジェクト」の集大成として竣工しました。計画段階からの学校や地域、関係各位のご理解、ご協力の賜物であり、お礼申し上げます。「教科センター方式」を導入した学校施設とICT活用の教育活動を連携させ、これからの学校を取り巻く教育環境の変化に柔軟に対応し、「教育の板橋」の実現を目指します。

板橋区長 坂本 健



北側外観。周辺環境に馴染むよう、小さなボリュームに分節している。外壁は、「うるわしい白い学び舎」という校歌の歌詞に合わせ、愛校心を育む白とした。



南側外観。教科教室の外壁を黄色にすることで、教科教室とホームベースが並ぶ形態を表している。

校長あいさつ

「自主・責任・協調」の学校目標の実現に向け、ホームベース隣接型の教科センター方式の校舎には、教科・系列のまとまりと学年のまとまりを調和させています。自然な光と風を取り込み、日光市産の杉の香りと温もり、屋上や壁面の緑に、本校校歌の「うるわしい白い学び舎」が、生徒の展示作品と共に彩り鮮やかに、本校の魅力となっています。ICT活用と教科の専門性と特質を生かし、「生徒の主体的な学びを深める教育活動」を展開します。

中台中学校校長 北村康子



図書室は壁、本棚、カウンター、天井、サッシュにまで木が使われており、落ち着きとあたたかみの中で知と触れ合える空間になっている。



校内は見通しの良いダブルコリドー（二重廊下）になっており、各所に設けた吹抜けや光庭、テラスから差し込む光や風で明るく快適に過ごせる環境としている。

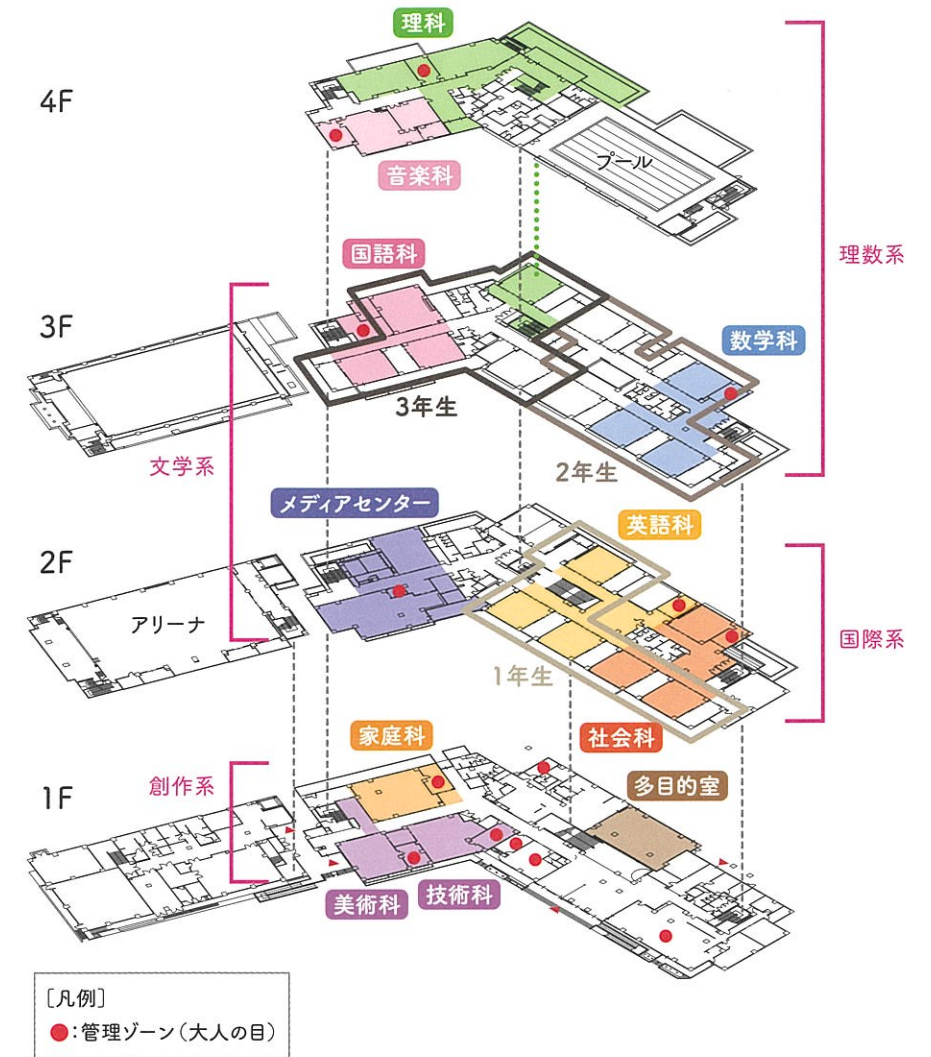


木の温もりに包まれ、大きな吹抜けをもった、明るく居心地の良い多目的室。学年全体会や保護者会などにも使われ、中台中学校を特徴づける空間となっている。

中台中学校改築概要

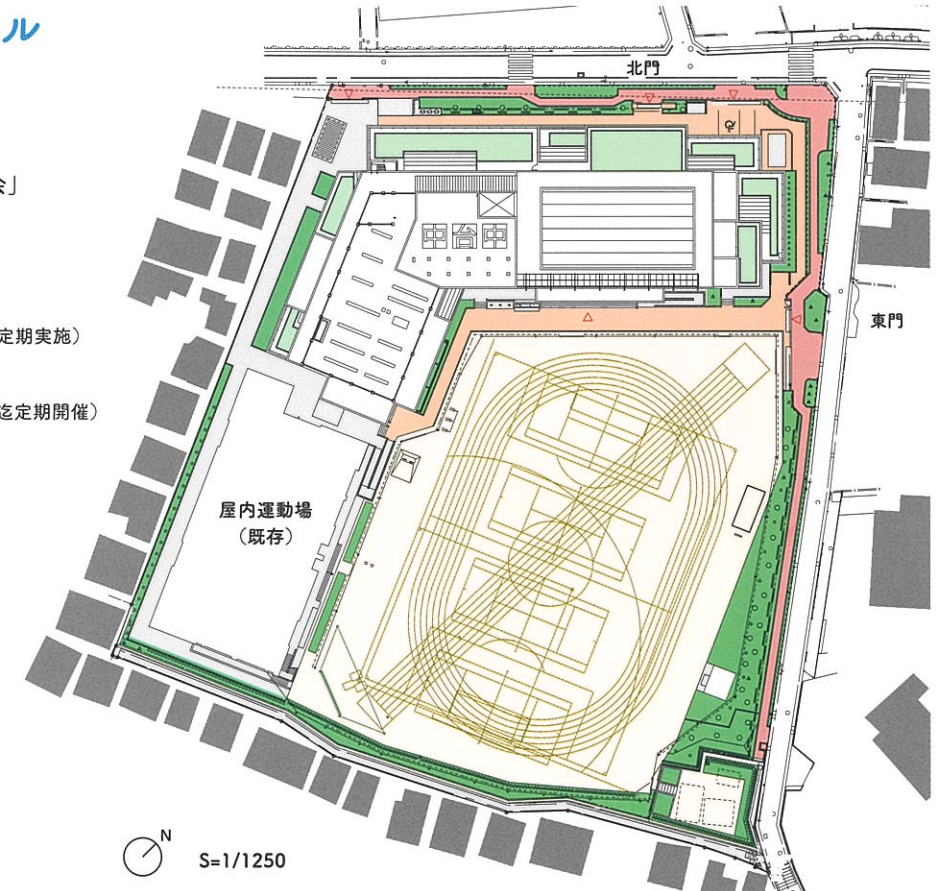
板橋区の中央付近、武蔵野台地の上に位置する中台中学校。昭和34年創立と、区内でも比較的新しい中学校ではありますが、校舎は建設から50年以上の月日が経ち、改築の必要性が出てきました。かねてより、区内の公立学校校舎建て替え等を進めてきた板橋区では、校舎の更新と共に教育のあり方の見直しを進め、平成28年に中台中学校は新しい教育を行うための、新しい校舎へと生まれ変わりました。

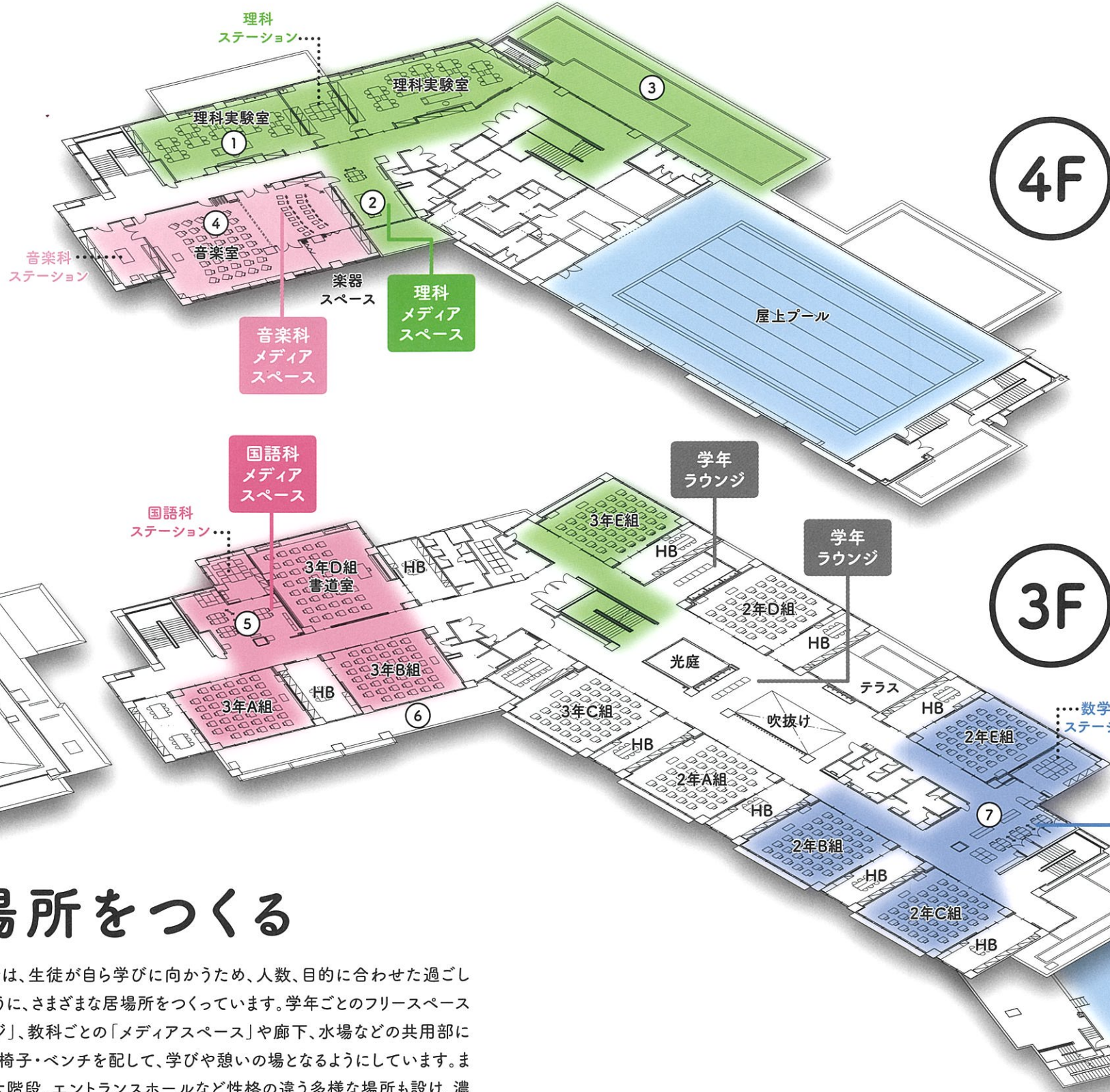
中台中学校の改築は、板橋第一小学校、赤塚第二中学校と共に3校一体で、板橋区の新しい教育を推進していく学校の集大成となります。「教科センター方式」を実現させる学校施設と教育活動が、生徒の主体性を育み、授業力を養います。そして、ひいては中台中学校から板橋区全体の教育を向上していく、そんな拠点としてふさわしい学校となりました。



改築プロジェクトスケジュール

- 平成20年 1月 「いたばしNo.1実現プラン」策定
- 7月 「いたばしの教育ビジョン」策定
- 平成21年 3月 「板橋区立学校施設あり方検討会」報告書策定
- 4月 「板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり担当課」設置
- 6月 教職員ヒアリング（平成22年7月迄定期実施）
- 7月 保護者・地域アンケート
- 8月 改築三校調整会議（平成23年3月迄定期開催）
- 12月 基本設計（平成22年5月迄）
- 平成22年 5月 学内検討会議（平成22年6月迄）
- 6月 実施設計（平成23年3月迄）
- 平成25年 11月 仮設校舎建設（平成26年2月迄）
- 平成26年 7月 既存校舎解体（平成26年12月迄）
- 平成27年 1月 建設工事開始
- 平成28年 3月 新校舎完成
- 9月 外構完成
- 11月 落成式





理科実験室。理科の教科教室は2つが実験室となっている。理科ステーション、メディアスペースと一体となり、興味・関心を触発する。



4階テラス。理科の屋外実験が簡単にできるように、実験室と隣接している。屋上緑化をし、環境配慮を目で見て、手で触れられるようにしている。



理科メディアスペースの特徴は専用テラスとディスプレイ。飾り棚も多く、理科の魅力を伝える空間となっている。



音楽室と音楽科メディアスペース。楽器管理や遮音性から、可動間仕切りを設け、一体利用やパート練習ができる。楽器のスムーズな移動、保管も可能になっている。

居場所をつくる

新しい校舎では、生徒が自ら学びに向かうため、人数、目的に合わせた過ごし方を選べるように、さまざまな居場所をつくっています。学年ごとのフリースペース「学年ラウンジ」、教科ごとの「メディアスペース」や廊下、水場などの共用部にはテーブルや椅子・ベンチを配して、学びや憩いの場となるようにしています。また、テラスや大階段、エントランスホールなど性格の違う多様な場所も設け、濃密な学校空間を形成しました。

木の学校と色彩計画

板橋区と「みどりと文化の交流協定」を結んでいる日光市の木材を随所に使い、木の温もりに包まれたあたたかみのある学校としました。メディアスペースの天井、ホームベースや図書室などの内装にふんだんに使い、学びを深めるための環境をつくりました。

また、各教科には、明るいパステル調のイメージカラーを使ったサインなどをあしらい、わかりやすく統一感ある空間を生み出し、快適な生活環境としています。



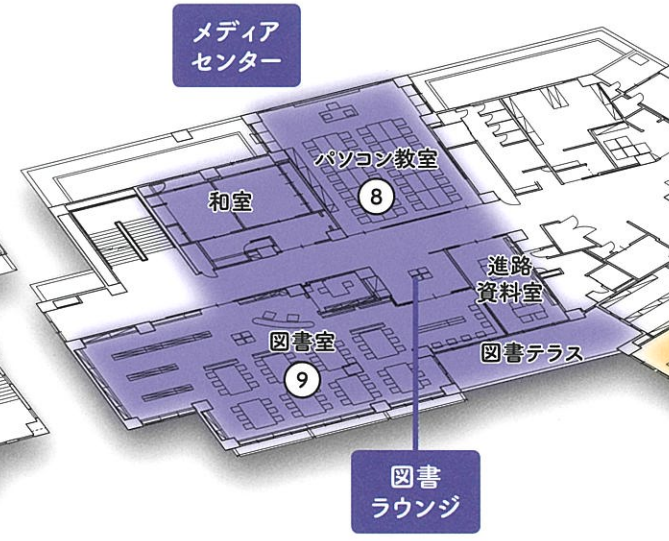
国語科のメディアスペース。書写や百人一首などができるよう、畳のスペースも設けている。



校庭に面した3階のテラス。テラスは各所に設けてあり、生徒が新鮮な外の空気に触れることができる。



数学科のメディアスペースにはホワイトボードがあり、生徒が互いに問題を解き合ったりできるようになっている。



[建築情報]	
名称	東京都板橋区立中台中学校
所在地	〒174-0064 東京都板橋区中台1丁目56番23号
電話番号	03-3932-6357
敷地面積	11,366.1㎡
建築面積	2,602.9㎡
延床面積	7,918.6㎡
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上4階



8 パソコン教室。向かい合わせの図書室とメディアセンターを形成する。校内に整備されたインターネットLAN環境とタブレットによって、学習の場を広げている。



9 内装に木がふんだんに使われた図書室。放課後には開放され、隣接した進路資料室と共に自習しやすい環境が整えられている。



10 英語科メディアスペースは、英語科教室と英語科ステーションの中央に位置し、開放的な吹抜けをもつ。自由度の高い家具レイアウトが可能になっている。



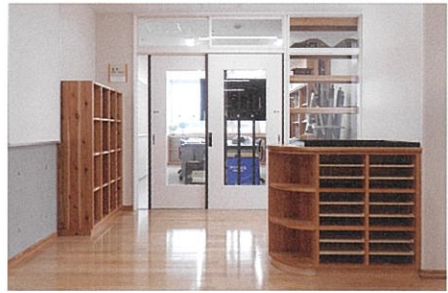
11 世界地図や地球儀など、多くの資料が置かれている社会科メディアスペース。少人数学習やさまざまな利用に合わせ、移動可能な家具を配置している。



教科教室には可動式のプロジェクター型電子黒板、実物投影機、ブルーレイプレイヤーなどが設けられており、ICTを駆使した授業を行っている。



ホームベースには教科書やバッグなど荷物が収納しやすい個人ロッカー、クラスの図書や共有物が置ける棚がある。左手の引き戸を開放すると教科教室と一体的に利用できる。



教科ステーション（教科教員室）には掲示板・課題の提出棚などもあり、さまざまな形で生徒と先生が学びの交流をもてる。

新しい授業と教室のあり方

学びの場： 教科教室で学ぶ「教科センター方式」

教科ごとに専用の教室をつくり、生徒が授業の時間割に合わせて移動する方式のことをいいます。「教科教室」は、教科の特性に合わせた環境づくり、学年を超えた蓄積・伝達など、多様な学習展開を可能にします。また、教科教室に隣接して、教科の掲示物・展示物・資料が集められ、授業や自習で自由に使える「メディアスペース」、教科教員室として教科の専門性の研究がなされ教材開発や教科部会が日常的に行われる「教科ステーション」があります。この3つの場所が教科ゾーンになり、生徒が主体的・協働的に学習を深めるアクティブラーニングを行う場となっています。

各教科教室は、理数系・文学系・国際系・創作系の4つに大きく分類され、関係性のある教科ごとに隣接した学習環境となっています。校舎の中心となる2階には、図書室・図書ラウンジ・パソコン教室・進路資料室などを配置し、全体で学びの中心「メディアセンター」を形成します。

生活の場： 「ホームベース」を拠点にする

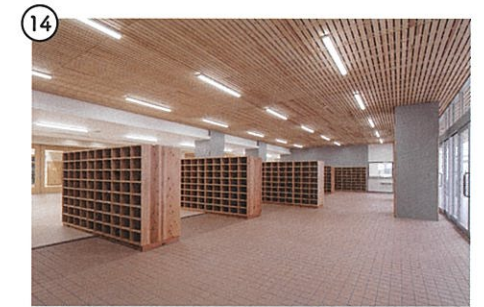
学級活動や給食の時間帯には、教科教室が生徒の生活空間となります。教科教室に「ホームベース」という、個人ロッカーやテーブルを設けた室が隣接し、生徒はこのホームベースを拠点として生活・学習をします。ホームベースは教科教室の1/2程度のサイズで、廊下と教科教室と引き戸でつながっています。学級活動や給食のときには、引き戸を開放することで、通常の1.5倍程の大きな教室として使えるようになっています。また、ホームベースには棚や掲示板もあり、各クラスの共有物や掲示物も置けるようになっており、クラスそれぞれの雰囲気をつくり出しやすいようになっています。さらに、内装には木材をふんだんに用いることで、落ち着きとあたたかみのあるアットホームな空間づくりを行っています。



12 美術科のメディアスペースは生徒作品を展示するため、ガラスケースが設置されている。



13 家庭科ステーションにつながる、落ち着きのあつ家庭科のメディアスペース。



14 昇降口の天井と下足箱には日光市産の杉が使われ、木の温もりと香りが生徒を迎え入れる。



〔設計〕
松田平田設計・教育施設研究所・楠山設計共同企業体
〔監理〕
株式会社 教育施設研究所
〔工事〕
建築 浅沼・瀧島・両徳建設共同企業体
電気設備 新分・平田共同企業体
給排水衛生ガス設備 栄幸・富士川共同企業体
冷暖房換気設備 鹿沼・中島共同企業体
昇降機設備 東芝エレベータ株式会社 東京支店

〔凡例〕
HB：ホームベース